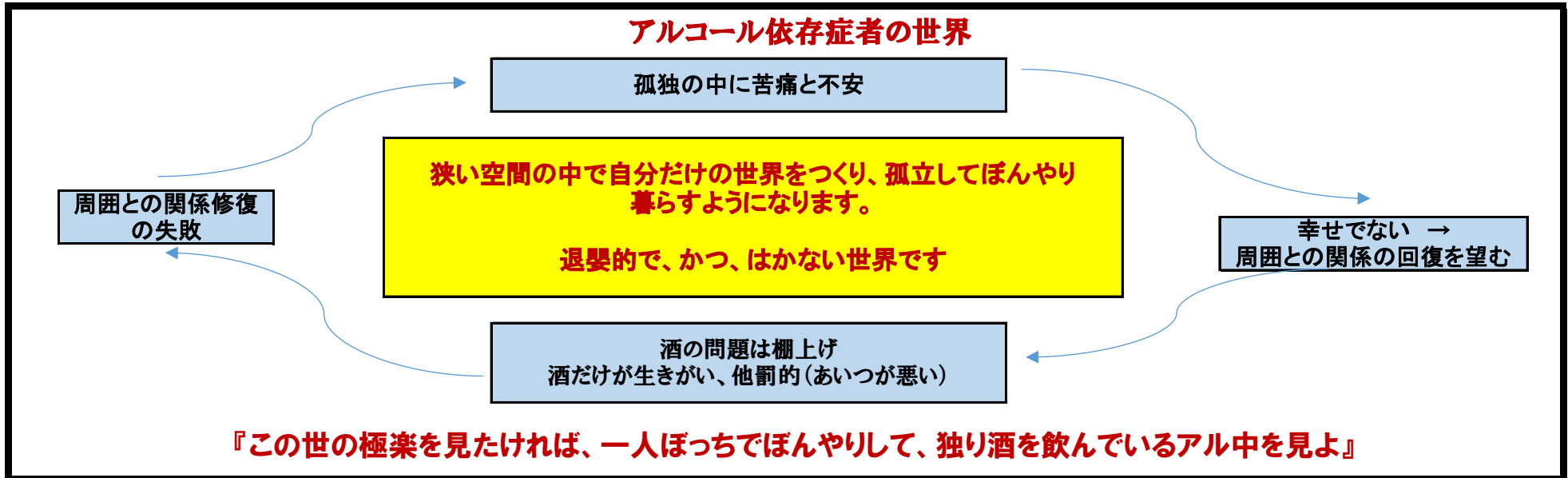


## 家族の方へ 依存症者の感性の目覚めと断酒意欲

断酒会では、『この世の地獄を見たければアル中の家庭を、極楽を見たければ断酒者の家庭を見よ』と言いますが、もう一つの事実もあります。



病状を専門医が事実どおり説明し、命に関わる状態にまで進行していると言え、患者は驚き怖れ、一時的に断酒を決意するでしょう

酒を飲むこと意外に感動の生まれてこない人間に、酒をやめようという決断ができるはずがない。

アルコール症独特の歪められた感性の世界から引きずり出し、眠りこけているようになった人間を感動する人間に変えること、何がその人の感性を刺激し目覚め

『叱責に疲れた娘の身に危うさを感じ、白い腕のはみ出す寝姿に

昔はこうした「底つき」を重要としましたが、むしろ断酒仲間の中で失敗を

入院のたびにいったん断酒を決意し、退院するとすぐに酒に走るの、失礼な言い方ですが、飲めるからだに治してやったからだと思います。

こうした世界に安住している限り、断酒の意欲は絶対わいてこない。

通常人として感性の目覚めを促すことが必要です。感動しなくさせるのは、画一的に考えられません。

初めて事態を認識し、猛烈に断酒を決意した。』(断酒会員)

繰り返しながらも問題の深刻さを自覚する方法が賢明です。

**ただ一つ言えるのは、誠実な対応(医師の治療と断酒会員等の酒害相談)と家族の正しい介入がそれを可能にし、断酒会に通い続けていれば、酒は止め続けられます、そして回復できます。 [家族のみで受診し、ビデオ学習しましょう]**